

◆サッカー部・吉田さん
U-22日本代表候補に！
Jリーグの横浜F.
マリノスへ2024年よ
り加入することが内定
しており、日本サッカ
ー協会の2023シーズ
ン「JFA・Jリーグ特別



で、自分としても心を動かせる選手、応援してもらえる選手になりたいです。目標はパリオリンピック

り準備していこうと思います。この試合で多くのことを学び経験し、もっと成長できるように頑張

ティーゲームズでしっかりとタイムを出し、来年のパリオリピックを目指してほしいです。

会において、本学陸上競技部の池田大晟さん（スポーツ総合課程4年、東大和高等学校・東京）が三段跳で優勝しました。喜びの声など詳細は次号で紹介します。

さかJ-1とは思っていません。なかつたし、U-22の候補に入れてもらえたというのも驚きが大きかったですね」と振り返ります。マリノスの宮崎キャンプで「後悔しないよう、自分の持っている力のすべてを出し切ろう」という気迫で臨んだ結果、ケヴィン・マスカット監督の目に留まりました。「鹿屋体育大学のことをもっと全国の人に知ってもらいたいですし、もっとサッカーに興味を持ってもらいたい。鹿屋体育大学サッカー部は応援される部を目指している。

4月4日〜9日に開催された「第99回日本選手権水泳競技大会」において、水泳部の久保田梨琉さん（スポーツ総合課程3年、植草学園大学附属高等学校・千葉）が女子50m自由形で8位入賞を果たし、8月1日〜7日に中国の成都で開催されるワールドユニバーシティゲームズの代表に選出されました。久保田さんからは「初めての世界大会の出場が決まり、やっと一歩という感じです。自分らしく、思い切り楽しんで泳げるように、試合に向けての準備

ります！応援よろしくお願ひします」とのコメントが寄せられました。

【萬久博敏監督のコメント】

入学してからずっと、水泳はもちろん、水泳以外もまじめに取り組む姿勢が素晴らしく、練習が終わった後も残って自分に必要な練習や身体のケアをやってからプールを出る、ということが続いています。その努力が今回復ったと感じております。目標はもっと高いところにあり、今回は第一関門突破といったところですが、まずは8

ファンだった母親の影響で、4歳からサッカーを始めたという吉田さん。1年生からレギュラーとして活躍し「卒業後はプロサッカー選手になる」という目標をしっかりと立てていたのですが「ま

本代表になってケガをすることなく海外でも活躍してほしいと思うと同時に、選手人生を終えた後も豊かな人生が待っていることを願っています。

◆水泳部…久保田さん
代表に選出

鹿屋体育大学初のネ
ミングライツ施設「S
PORTECスポーツ
パフォーマンス研究セン
ター」の除幕式を、4月
21日に開催しました。T
SO International

ional株式会社と本学がネーシングライツ契約を締結し、玄関及びアリナに同社が全国の主要都市で開催している産官学連携のスポーツイベント名「SPORTTEC」

に繋がっていくと考えています」と話しました。

本学は今後もネーミングライツ制度の周知に努め、教育研究環境の充実に取り組んでまいります。

「サイドバックの穴埋め要員」から一気にサクセスストーリーのヒーローに駆け上りました。

の努力が実り、チャンスをつかみとるための準備ができていたのだと思いますし、それを引き寄せたのは彼の実力です。日



ネー



ツ研究の拠点とし、世界中のスポーツ研究者が集い、研究成果を発表する場として使っていただけることがスポーツの発展

指定選手」でもある本学サッカー部の吉田真那斗さん（スポーツ総合課程4年、浜松開誠館高等学校・静岡）が、U-22日本代表候補のメンバーに選出されました。転機が訪れたのは、今年1月。シーズン開幕前に宮崎でキャンプを行っていたマリノスのサイドバックに負傷者が出て、塩川勝行監督から「練習試合のメンバーが足りないそうだから、行ってきてくれないか」と言われて参加、

ピックメンバーですが、その前にまだ大学4年生です。でインカレ日本一を目指して頑張ります」と、大学のPRも忘れない、謙虚さとさわやかさが印象的でした。

【塩川勝行監督のコメント】
人間性も素晴らしい、もともと能力を持っている選手でしたが、技術的にも戦術的にもどんどん成長していった。昨年度くらいからは九州では圧倒的な違いを見せられる選手になっていました。普段

SPORTEC
ツパフォーマンス研究センター
除幕式を開催

を盛り込んだロゴが設置されました。

除幕式で金久学長は「今回のネーミングライツ契約は、今後の本学の研究・産官学連携の方向性を導く鍵になると考えています。スポーツの持つ社会的役割を果たすため、研究やシンポジウムの活性化を進めたい」と挨拶しました。

TSO International株式会社代表取締役社長の佐々木剛氏は「ここをスポー

が、人と人との対面でのコミュニケーションも大事だということを忘れないでほしい。(G・Y)

禍で対応を強いられてきたことすべてが無駄になったわけではなく、オンラインでの授業や会議等については、遠隔地からも参加できることから新たな実施方法として有効だと思う▼文部科学省は教育において最新のデジタルテクノロジーを活用することで、教育の手法や手段、教職員の業務などを変革させることを目的に教育DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進している。今後さらにデジタル

コンサートや運動会等の各種イベントの実施やスポーツ観戦での声援等、対面での対話やコミュニケーションができるようになっていき、経済的にも回復していくだろう。ただし、コロナ

生の挨拶や笑い声など
活気が戻ってきたよう
に感じる▼今後、さら
にコロナ禍において制
限されてきた旅行、会
食、

令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人に委ねられることになった。これまでの制限された生活からようやくコロナ前の生活に少しずつ戻りはじめており、大学内においても学



スポーツを愛する
すべての人とともに

ミズノ
スポー
スポー

スポーツ振興
ツの振興・音
ツを愛する人

興財団は、
普及を目指し、
人々を応援しています。

9人



 公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

卒業生 インタビュー 女子バレーボール 選手

27期生
内瀬戸 真実さん



【Profile】

うちせと・まみ。1991(平成3)年10月25日、宮崎県延岡市生まれ。宮崎県延岡学園高校卒業後の2010年、鹿屋体育大学スポーツ総合課程に入学。4年次に日立リヴァール(現日立Astemoリヴァール)の内定選手になる。2014年3月卒業し、日立リヴァールへ。同年4月に日本代表に選出される。2015年、ワールドカップに日本代表選手として出場。2017年日立を退団し、イタリアへ。2018年、トヨタクインシーズに入団。2020年6月、埼玉上尾メディックスに移籍。2023年4月28日、現役引退を発表。

今年10月に行われる鹿屋市島国体の女子バレーボールの試合で、内瀬戸真実さんの雄姿が見られてうれしかった。内瀬戸さんは今年4月に31歳で現役引退発表。しかし、鹿屋体育大学の濱田幸二監督からの要請で、国体出場という最後の舞台が用意されることになった。

延岡学園高校時代にインターハイや春高バレーで活躍した内瀬戸さんが鹿屋体育大学から声をかけられ入学したのが2010年のこと。実は練習の厳しさを耳にしていたので、入学するかどうかかなり悩んだそうだ。しかし、日本一になってみたいという思いが最後には優る形になった。

たしかに、鹿屋の女子バレーボール部の練習は高校時代とは大違いだった。レシーブは3本連続してセットされた網の中に入れて相手が続けられる。パスは相手が動かずにとれるようにする。ボールを手の中をキッチして一瞬の間を作る。これらの細かな基本練習が延々と続く。入学した年に先輩たちが日本一

なっているのを見ていたからこそ耐えられた練習で、競技人生の中でも、個人技としては一番つめた時期だったという。

4年生になった時、見事全日本インカレ優勝を果たし、内瀬戸さん自身もスパイク賞、ブロック賞、さらにはレシーブ賞も受賞している。レシーブ賞も受賞するというのは珍しいことだ。大学でのあの3度連続して網に入れるレシーブ練習があったからこそそのレシーブ賞だ。このレシーブの技術がその後、内瀬戸さんをさらに輝かせることになる。

身長は171センチ。バレーボール選手としてはそれほど高い身長ではない。大学を卒業したらバレーとは縁を切って理学療法士として仕事をしたいと夢を持っていた。しかし日立リヴァールからオファーがある、若い時しかバレーはできないからと実業団行きを決定する。実業団はこれまた今までのとは全くレベルが違い、ボールのスピードと動きの速さにかなり戸惑った。しかし、入団一年目の1月にプレミアデビューを飾ると、何と4月にはVプレミアリーグのニューヒロイン賞に輝き、さらには日本代表にも選ばれた。全日本のサーブレシーブ力を高く評価してのことだった。大学で微に入り細を穿つような練習を重ねてきたことが改めて評価されたのだ。

ワールドグランプリやワールドカップなどに日本代表として出場すると、本代表として出場すると、2017年にはイタリアのセリエA2ヘルマエ・オルビアに入団して1年間プレーをする。周囲を驚かせる決断も、本人は、日本代表として外国勢と戦うために勉強に行きたと語る。常に身長の高い選手とプレーすることでブロックの見方が変わってくる。さらにはブロックを意識しながらのスパイクなど、国内での練習では得られないものが見えてきたようだ。性格的にはおっとりとしており、どこにそんな決断力があるのかと思うが、新しいことにチャレンジし

て、知らないことを知っていくことに大きな喜びを感じるのだそうだ。

東京2020の代表からは外れてしまったが、その後、再び真鍋監督からレシーブ力を買われ、最後、リベロとして全日本に起用された。埼玉上尾メディックスで2023年のシーズンをもちつ引退することが発表され、内瀬戸さんは「やり切ったので、次に進みたい」とさばさばした様子を見せた。

小学1年生から始めた25年間のバレーボール人生で、一番楽しかったのは大学時代と言いつける。バレーボール界と云えば、暴力やハラスメントが多いことをイメージする人も多いが、大学時代はそうしたもの全く無縁だった。学年を超えて同じ目標を持って、厳しい練習を乗り越えていった日々。先輩後輩という枠を超えて仲が良く、一人暮らしの身には、先輩が気にかけてくれたり、食事に誘ってくれたりしたことが嬉しかったという。最高に楽しかった思い出は、真夏の練習後、皆で荒平天神に向かい、アイシングと称して海に飛び込んで泳いだことだ。仲のいい選手たちの声が聞こえてくるようだ。

令和4年度卒業生・修了生の進路状況

今春、本学を卒業・修了した学生の進路状況については、表1のとおりです。

体育学部 就職率(就職希望者に対する就職者の割合)は99・4%(昨年度は98・8%)となりました。卒業生のうち、プロや実業団の選手を含む企業等への就職者、教員及び公務員への就職者、大学院進学者の割合は、いずれも例年と同程度を示しております。武道課程においては、就職率が5年連続100%を達成しました。本学キャリア形成支援センターでは、就職相談員とハローワークから派遣された就職支援ナビゲーターの方による就職支援に関する相談体制の充実を図るため、令和4年10月以降、週4日体制から週5日体制に強化し、就職や進路の相談、履歴書やエントリーシートの添削、面接指導などの個別対応を随時行っています。今年も教職員による手厚い指導が、実を結んだ結果となりました。

同センターでは、就職相談体制のほか、キャリア形成科目の授業実施や表2のとおり年間を通して就職支援行事の実施を予定しています。

表2. 令和5年度就職支援行事(予定)

4月	・第1回教員採用模擬試験(全国共通)
5月	・第1回公務員採用模擬試験(市役所型) ・就活セミナー「就活スタートアップ講座」
6月	・第1回就職ガイダンス
7月	・就活セミナー「夏休み活用講座」 ・第1回就職塾
8月	
9月	
10月	・就活セミナー「後期スタートアップ講座」 ・就活セミナー「Webテスト対策講座」 ・第2回公務員採用模擬試験(共通ステップ1)
11月	・第2回就職ガイダンス ・第2回就職塾
12月	・就活セミナー「自己PR作成講座」 ・第2回教員採用模擬試験(全国共通) ・就活セミナー「面接対策講座」
1月	・就活セミナー「グループディスカッション対策講座」 ・第3回公務員採用模擬試験(共通ステップ2)
2月	・就活セミナー「就活解禁直前対策講座」 ・第3回教員採用模擬試験(全国共通) ・第4回公務員採用模擬試験(警察・消防型)
3月	・就職EXPOバスツアー ・就活開幕LIVEバスツアー ・第5回公務員採用模擬試験(地方上級型)

※上記のほか、企業や警察・自治体等の個別説明会を随時実施

表1. 令和4年度卒業生・修了生の進路状況

区 分		体育学部				大学院 修士課程				大学院 博士後期・3年制博士課程			
		スポーツ総合課程	武道課程	合計	率(%)	体育学専攻	スポーツ国際開発学共同専攻	合計	率(%)	体育学専攻	大学体育スポーツ高度化共同専攻	合計	率(%)
進路先等内訳	教員	国公立：正規	0	2	2	17.3%	0	0	0	0.0%	0	0	0
		私立：正規	1	0	1		0	0	0		1	0	1
		期限付常勤・非常勤講師	23	7	30		0	0	0		0	0	0
		警察・消防・自衛隊・刑務等	8	21	29		0	0	0		0	0	0
	公務員	一般行政・団体等	9	0	9	19.9%	2	0	2	14.3%	2	0	2
		プロ・実業団選手	17	2	19		0	0	0		0	0	0
		スポーツ健康関連企業	16	2	18		3	0	3		0	0	0
		その他の一般企業	45	8	53		3	1	4		0	0	0
	企業等	自営業	1	1	2	48.2%	0	0	0	50.0%	0	0	0
		就職者 計	120	43	163		8	1	9		3	0	3
		就職活動中の者	1	0	1		0	1	1		0	0	0
		就職率(%)	99.2%	100.0%	99.4%		100.0%	50.0%	90.0%		100.0%	0.0%	100.0%
	進学	大学・大学院	12	5	17	8.9%	2	0	2	21.4%	0	0	0
		その他(専門学校等)	0	0	0		1	0	1		0	0	0
		非就職希望	10	0	10		1	0	1		0	0	0
		その他	0	0	0		0	0	0		0	0	0
	未就職	現職・元職に復帰				5.2%	0	0	0	0.0%	0	0	0
		卒業生・修了生 合計	143	48	191		12	2	14		3	0	3

※率(%)……卒業生・修了生の合計に対する割合

自宅・アルバイト先

DIRECT!

学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う
寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ **TEL 0994-43-2627 E-mail : info@kotobuki-ds.jp**

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>

農業機械

株式会社 三井物産

<http://www.mizuho.kubota.ne.jp>

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文
浄化槽の管理

水質保全に
全力投球

鹿屋市許可

株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

4月21日に「第22回(令和5年度)競技力向上の会」を開催しました。この会は、本学学生の競技力向上を図るため、日頃から競技力向上に励む全ての学生、その育成にあたる教員等が、それぞれの分野における成果の発表と情報交換を行うもので、この会を通して参加者相互の理解と連携を深め、学生自身が全国的さらには国際的トップアスリートを目指すための志気の高揚を図ることを目的に開催されています。令和2〜3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンライン配信で行いましたが、令和4年度と本年度は対面とライブ配信のハイブリッド形式で行いました。

第1部は、金久博昭学長及び濱田幸二競技力向上委員会委員長の挨拶に始まり、冠スポーツ奨学金支援企業16社の紹介、令和4年度の重点強化指定選手・チームに指定された課外活動団体の代表者9名が「重点強化指定選手・チームがやっていること」と題して、普段の練習や試合の様様を動画で紹介しました。

令和5年度 重点強化指定選手	
競技名	氏 名
陸上競技	葛西 伊吹、池田 大晟、水野 皓太、平松 委穂里
水 泳	久保田 梨琉、後野 真衣、仲田 葵、岡 莉子、津隈 由子
体操競技	金田 希一、津村 涼太
ヨット	北 修紋
ボート	黒木 秀里
カヌー	池口 黎於、原田 雅功、鳥越 天宮、中國 太陽、松本 仁心、行田 朋晃、阿部 弘豊、北崎 健介、高野 真緒、田中 楓馬、土橋 愛花、若永 紘明、久保田 桂仙
自転車	高良 柊也、伊澤 将也、大河内 将泰、香西 高良、小谷 寛待、中西 美央、年見 穂風、津留 峻、福迫 倅輔
剣 道	御厨 彩華
なぎなた	村田 凜

第2部は、浅川伸氏(公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構専務理事)が特別講演「「アンチ・ドーピング」を学ぼう!」のテーマで、長年携わってきた経験に基づく数々のエピソードを話しました。続いて「トップアスリートに起こり得るドーピング陽性判定を予防するための方策」をテーマに、浅川氏、三浦健競技力向上委員会委員、実際にドーピング検査を体験したことのある学生3名による座談会が行われ、学生の体験談発表を通して、会場やオンライン受講している学生からの質問に対し、浅川氏が実態や現場を踏まえたアドバイスをするなど、学生参加型で行われました。

令和5年度 強化指定競技	
競技区分	競 技 名
スポーツ個人競技	陸上競技、水泳、体操競技、ヨット、ボート、カヌー、自転車
スポーツ団体競技	バレーボール、体操競技、テニス、ヨット
武 道	剣道、柔道、なぎなた

令和5年度 重点強化指定チーム	
競 技 団 体 名	
女子バレーボール部	剣道部(男子)
体操競技部(男子)	剣道部(女子)
テニス部(女子)	なぎなた部



特別講演講師の浅川氏

画で紹介しました。第2部は、浅川伸氏(公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構専務理事)が特別講演「「アンチ・ドーピング」を学ぼう!」のテーマで、長年携わってきた経験に基づく数々のエピソードを話しました。続いて「トップアスリートに起こり得るドーピング陽性判定を予防するための方策」をテーマに、浅川氏、三浦健競技力向上委員会委員、実際にドーピング検査を体験したことのある学生3名による座談会が行われ、学生の体験談発表を通して、会場やオンライン受講している学生からの質問に対し、浅川氏が実態や現場を踏まえたアドバイスをするなど、学生参加型で行われました。



課外活動団体代表者による「重点強化指定選手・チームがやっていること」の発表

「競技力向上の会」を開催!

4月1日付で新規採用職員として総務課総務係に平山 聖彩(ひらやま せいさい)が加入しました。平山さんは、鹿屋市立鹿屋高等学校から入学し、大学では専攻は社会教育で、課外活動ではテニス部のマネージャーでした。出身は鹿児島市で、この春から初の一人暮らしになります。鹿屋には初めて住みましたが、すぐそばに豊かな自然があり、澄み切った大きな空も近く、景色がとても綺麗に感じています。中でも仕事終わりに見た夕日に照らされた本学のグラウンドの景色が特に気に入りました。

総務課総務係(兼)広報・企画室長 松浦 洋人(まつうら ひろと)が加入しました。松浦さんは、鹿屋市立鹿屋高等学校から入学し、大学では専攻は社会教育で、課外活動ではテニス部のマネージャーでした。出身は鹿児島市で、この春から初の一人暮らしになります。鹿屋には初めて住みましたが、すぐそばに豊かな自然があり、澄み切った大きな空も近く、景色がとても綺麗に感じています。中でも仕事終わりに見た夕日に照らされた本学のグラウンドの景色が特に気に入りました。

4月1日付で新規採用職員として総務課総務係に平山 聖彩(ひらやま せいさい)が加入しました。平山さんは、鹿屋市立鹿屋高等学校から入学し、大学では専攻は社会教育で、課外活動ではテニス部のマネージャーでした。出身は鹿児島市で、この春から初の一人暮らしになります。鹿屋には初めて住みましたが、すぐそばに豊かな自然があり、澄み切った大きな空も近く、景色がとても綺麗に感じています。中でも仕事終わりに見た夕日に照らされた本学のグラウンドの景色が特に気に入りました。

学生課学生企画係(兼)広報・企画室長 松浦 洋人(まつうら ひろと)が加入しました。松浦さんは、鹿屋市立鹿屋高等学校から入学し、大学では専攻は社会教育で、課外活動ではテニス部のマネージャーでした。出身は鹿児島市で、この春から初の一人暮らしになります。鹿屋には初めて住みましたが、すぐそばに豊かな自然があり、澄み切った大きな空も近く、景色がとても綺麗に感じています。中でも仕事終わりに見た夕日に照らされた本学のグラウンドの景色が特に気に入りました。



体操競技部は、監督の中谷先生、部長の山下先生の指導のもと、男子22名、女子5名で活動しています。私たちは「至誠通天」という言葉をモットーに、チームの目標と個人のそれぞれの目標を達成できるように日々取り組んでいます。「至誠通天」とは「誠の心を尽くして事にあたれば、いつか天に通じ認められる」という意味です。目標に対して諦めず、真摯に取り組むことで、成長に繋がります。目標を達成できるようになると仲間同士で励みあったり、練習だけでなく、プライベートでも助言や相談したりしています。

昨年は、第76回全日本体操団体選手権大会で、鹿屋体育大学体操競技部史上初となる3位(学生1位)を達成することができました。これからは体操競技部がより強いチームに、選手それぞれもより強い選手を目指すだけでなく、応援されるチーム、選手になることを目指しています。今年はガムに、男子は「二強奪還」、女子は「全力10位以内」を目標として書き込みました。達成できるよう取り組んでまいりますので、体操競技部の応援よろしくお願いします! また、InstagramなどのSNS、公式ホームページでの発信もしておりますので、何卒ご覧ください!

どのようになかせるかは未知数ですが、粘り強く職務と向き合い、日々研鑽に励み、本学職員及び社会人としての資質の向上と技能の習得に努めてまいりたいと思います。着任して数カ月ほど経ちますが、上司や先輩の方々が真摯に業務と向き合い、親身になって学生に接し、自分自身も学生時代に多くの方々に支えられてきたことを改めて感じています。今後は私自身が本学職員として、学生の皆さんが充実した実りある学生生活を送れるようサポートに努めてまいりたいと思います。社会人としての生活が始まった今、一日でも早く大学運営の一助を担えるよう初心を忘れることなく、緊張感をもって業務に携わってまいります。時代は多くの方々に支えられてきたことを改めて感じています。今後は私自身が本学職員として、学生の皆さんが充実した実りある学生生活を送れるようサポートに努めてまいりたいと思います。社会人としての生活が始まった今、一日でも早く大学運営の一助を担えるよう初心を忘れることなく、緊張感をもって業務に携わってまいります。

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

SUGOHAKU

【厚盛デジタル加飾システム】-KIRAMEKI-

印刷物へ
新たな付加価値を

厚盛クリアニスの上に箔を加飾させることで、盛り上がった立体的な箔加工が可能になりました。従来の箔押しと一線を画したグラマラス感のある仕上がりに。

パッケージ・パンフレット・ポスター etc.に、ご利用いただけます。

TO OUR
Welcom
厚盛デジタル加飾により盛り上がった箔加工

厚盛クリアニスによるリアルなテクスチャ感

ビュースタイルに優れる

株式会社 新生社印刷

鹿児島県鹿屋市礼元1丁目22-34

TEL 0994-43-2238

URL http://www.shinsei-p.co.jp E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

お気軽にお問い合わせください。

まっすぐに。正直に。

たい かい

大波酒造株式会社

〒893-0016

鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号

電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

〇飲酒は20歳になってから。
〇飲酒は楽しく、適量を。
〇妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
〇飲酒運転は法律で禁止されています。

すべての消費者のために!!

MOVE
It's your future

寿スポーツ

鹿児島県鹿屋市新川町603-2

TEL 0994-44-2123

